

トクシコ通信

青森県立北斗高等学校〔定時制〕

【特別支援教育コーディネーター通信】

第2号 発行日：令和7年8月22日

「人権教育学習会」

～ 十人十色、互いを尊重する社会 ～

7月18日（金）、オンラインで「人権教育学習会」が行われました。講師として、青森県発達障害者支援センター「ステップ」所長の町田徳子氏を招き、「十人十色、互いを尊重する社会」をテーマに講演を行いました。講演の中で、発達障害の特性を分かりやすく説明していただいただけでなく、考え方や捉え方の違いを認める大切さを学ぶことができました。また、発達障害のある人(本人)が分かってほしいことや周りの人たちができることについて、具体的に説明をしていただきました。改めて、自分や周りの人がお互いに尊重し合いながら生活することの大切さを知り、とても有意義な時間となりました。



生徒へのアンケートより

★講演を聞いて印象に残ったことや感想を書いてください。

- ・絵本が印象に残った。人それぞれだということが改めて理解できました
- ・一日の最後に尊重したり、労うのは自分という言葉が印象に残りました。
- ・色々な悩みを抱えている人がいるということを、実体験を用いた絵本を読んだりして改めて実感しました。
- ・最初聞かせてくれた女の子の話が印象に残りました。周りの人が支えてくれてその子は学校が楽しくなったと最後言っていて良かったと思ったし、自分はやり方を理解して一人でできることが本当に恵まれているなど実感しました。
- ・権利について詳しく知ることが出来た。
- ・沢山の権利があることを知り、色々な事を知れて良かったです。
- ・「プラスを与えればプラスが返ってくる」「マイナスを与えればマイナスが返ってくる」という言葉が心に残りました。見返りを求めることなくプラスな言葉が言えるようになりたいです。
- ・勇気のある人が声を上げたおかげで障害者の方の人権が保障されるようになったのはとても素晴らしいことだと思いました。
- ・人と違うことがコンプレックスになってしまうこともありますが、互いにその違いを尊重し合って生きることの大切さを学びました。
- ・今回のことで、みんなちがってみんないいという言葉が思い浮かびました。
- ・互いに認め合う世界になればと思います。
- ・学校こわいが印象に残った。自分にはなかった考え方だったので少し驚いた。そういう人も私みたいな人も認めてくれる社会を目指そうと思った。

